# 第154期
# 事業報告書

平成16年4月1日～平成17年3月31日








**西武鉄道株式会社**

〒359-8520 埼玉県所沢市くすのき台一丁目11番地の1

TEL.(04)2926-2040

ホームページアドレス　http://www.seibu-group.co.jp/



**西武鉄道株式会社**

# 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

第154期事業報告書をお届けするにあたりまして一言ご挨拶申しあげます。

当社は、昨春の商法違反事件の反省からコンプライアンス体制の構築に努めてまいりましたが、その過程で有価証券報告書の記載内容に問題があることが明らかとなり、再び社会からの信頼を損ねる結果となりました。さらには上場廃止という事態に至り、株主の皆さまには多大なご迷惑をお掛けしたことを深くお詫び申しあげます。

当社といたしましては、株主の皆さま並びに社会からの信頼を回復することが最も重要な課題であると考えております。そのためには、昨年より実施してまいりましたコンプライアンス体制の一層の整備を通じた法令順守の徹底は無論のこと、コーポレートガバナンスの確立を図るべく、内部監査の強化や、取締役会を中心とした合理的で透明性の高い意思決定システムを再構築してまいります。また同時に、新たな人材の登用や地域社会との共生への取り組みなどを通じて、企業風土の改革に努めてまいりますので、よろしくお願い申しあげます。

さて、当期におけるわが国経済は、製造業を中心として輸出の増加に後押しされる形で企業収益に改善が見られたものの、その勢いは個人消費にまでは及ばず、後半では原油・素材価格の高騰などの不安定要素に加え、雇用情勢や所得水準の改善が見られず、景気回復の実感が乏しい状況のまま推移いたしました。

鉄道業界では、関東大手私鉄で前期に輸送人員が微増に転じたものの、今期は横ばいまたは微減となっており、引き続き沿線人口の都心回帰や少子高齢化の進行により、厳しい状況が続いております。観光業界では、レジャーの多様化や余暇支出の抑制などで、限られた市場内での競争によって繁閑の二極化が進行しております。不動産業界では、地価の下落傾向が続く一方で、都心部の再開発が活発化するなど、地域や物件の差別化傾向が明確になっております。

このような状況の中で、付帯事業ではイベントの積極的な実施と施設の新設、リニューアルなどにより収益の向上に努めましたが、鉄道事業が低調に推移したために、全事業営業収益は2,029億7千7百万円（前期比0.1％減）となりました。一方、費用面におきましては、業務の委託化や営業施設の縮小、閉鎖などの効率化に努めたほか、長期借入金および鉄道・運輸機構未払金の支払利息が減少したことなどにより、経常利益は142億1千9百万円（前期比16.4％増）となりました。これに新横浜地区の土地売却による売却益のほか、飯能地区の武蔵丘分譲地の計画中止などによる固定資産除却損、販売用不動産の評価減に伴う分譲土地評価損などを計上しました結果、当期純利益は36億1千万円（前期比12.2％増）となりました。

当期末の配当金につきましては、安定した配当を継続するという基本方針と当期の業績を勘案し、中間配当金と同額の1株あたり2円50銭とさせていただきました。

当社といたしましては、今後、最良の経営改革案を策定し、再上場に向けて全社一丸となって取り組んでまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、何卒ご理解のうえ、変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

平成17年6月

西武鉄道株式会社

取締役社長　**後藤　高志**





# 営業の概況

## 鉄道事業

当期の営業収益は998億8千1百万円（前期比0.6％減）、営業利益は170億9千7百万円（前期比3.1％減）となりました。

また、輸送人員は、定期旅客が3億7千2百万人（前期比0.2％減）、定期外旅客が2億3千2百万人（前期比0.8％減）、定期・定期外合計で6億4百万人（前期比0.5％減）となりました。

### バリアフリー化を柱とした駅の利便性の向上

ひばりヶ丘駅、西武柳沢駅など6駅でエレベーター18基、エスカレーター9基を増備したほか、多機能トイレを4駅に設置してバリアフリー化を推進いたしました。また、お客様ご案内用オープンカウンターを5駅に、ホーム待合室を西所沢駅に設置するなど駅の利便性向上を図りました。



△西武柳沢駅エレベーター



△西所沢駅ホーム待合室



△お客様ご案内用
オープンカウンター



△多機能トイレ

### 安全対策への取り組み

ホーム安全対策として列車非常通報装置を14駅に、ホーム下待避口を4駅に、列車進入警報装置を18駅に設置いたしました。踏切事故防止対策としては、踏切支障検知装置を22箇所に新設し、踏切の視認性向上対策を50箇所で実施いたしました。



△列車非常
通報装置



△ホーム下待避口



△視認性向上パネル

### 人的サービスの技術向上

一般のお客様や地域の方々に「駅ボランティア」として支援をお願いする試みを実施したのをはじめ、職員の介助研修などを充実させたほか、サービス介助士の資格取得を促進するなど、施設の整備と併せて人的サービスの技術向上を図り、バリアフリー化を推進いたしました。



△駅ボランティア



△介助研修

### 積極的な旅客誘致

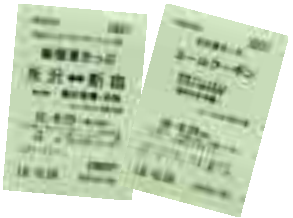
定期外旅客の増加を図るために他社と連携したウォーキング等を実施し、年間を通じて当社沿線各地を楽しんでいただけるよう、積極的に観光イベントを企画実施いたしました。特に、新規需要の喚起、沿線グループ施設の宣伝、活性化のために企画乗車券を新たに発売いたしました。



◁奥武蔵ハイキング



△他社と合同で実施した
イベントのパンフレット



△ミールクーポンとセットの
新企画「新宿夏きっぷ」

# 付帯事業

当期の観光事業の営業収益は651億8千8百万円（前期比5.2％増）、営業利益は4億8千6百万円（前期は1億2千6百万円の営業損失）、また不動産事業の営業収益は379億6百万円（前期比7.0％減）、営業利益は81億5千5百万円（前期比3.7％増）となりました。

この結果、付帯事業全体の営業収益は1,030億9千5百万円（前期比0.4％増）、営業利益は86億4千2百万円（前期比11.7％増）となりました。

## ハローキティ メルヘンタウン オープン

株式会社サンリオと提携し、西武園ゆうえんち内中央に8種類のアトラクション施設をもつハローキティメルヘンタウンをオープンさせて、幅広い年齢層のお客様に楽しんでいただける施設づくりに努めました。



▲ハローキティ メルヘンタウン

## 店舗展開を軸とした便利な駅づくり

駅舎改築工事に合わせた新規店舗の開業や既存店舗の入れ替えを行い、店舗展開を軸として駅の利便性の向上を図りました。





▲ひばりヶ丘駅新店舗▲

## 沿線地域サービスの向上

高架下スペースの有効活用と沿線のお客様への新たなサービスの提供を目的に、池袋線練馬～中村橋間の高架下にレンタル収納スペース「西武クローゼット中村橋」の営業を開始しました。



▲西武クローゼット中村橋

## 社有地の有効活用と賃貸施設の拡充

不動産賃貸業では、豊島園地区で新立体駐車場や事業用定期借地権を活用したシネマコンプレックス「ユナイテッド･シネマとしまえん」の開業など、社有地の有効活用と事業基盤の拡充を図りました。



▲豊島園新立体駐車場



▲ユナイテッド・シネマとしまえん

## 戸建住宅の分譲

不動産販売業では、「所沢松が丘」、「横須賀ニュータウン湘南池上」などで戸建住宅を分譲いたしました。



▲所沢松が丘



横須賀ニュータウン湘南池上▶

# 財務諸表（単体）

## ■貸借対照表の要旨（平成17年3月31日現在）（単位：百万円）

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|---|---|---|---|
| （資産の部） | | （負債の部） | |
| 流動資産 | 115,790 | 流動負債 | 390,574 |
| 現金・預金 | 14,330 | 短期借入金 | 307,182 |
| 未収金 | 10,163 | 未払金 | 51,232 |
| 分譲土地建物 | 34,088 | 前受金 | 13,172 |
| その他 | 57,208 | その他 | 18,986 |
| 固定資産 | 876,478 | 固定負債 | 532,179 |
| 鉄道事業固定資産 | 341,623 | 長期借入金 | 431,303 |
| 付帯事業固定資産 | 273,292 | 退職給付引当金 | 18,137 |
| 各事業関連固定資産 | 1,661 | その他 | 82,739 |
| 建設仮勘定 | 60,098 | 特別法上の準備金 | 19,901 |
| 投資その他の資産 | 199,803 | 特定都市鉄道整備準備金 | 19,901 |
| 子会社株式 | 148,347 | 負債計 | 942,655 |
| 投資有価証券 | 31,076 | （資本の部） | |
| その他 | 20,379 | 資本金 | 21,665 |
| | | 資本剰余金 | 2,587 |
| | | 利益剰余金 | 22,919 |
| | | 株式等評価差額金 | 2,472 |
| | | 自己株式 | △31 |
| | | 資本計 | 49,612 |
| 資産合計 | 992,268 | 負債・資本合計 | 992,268 |

（注）1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 有形固定資産の減価償却累計額 552,385百万円
3. 1株当たり当期純利益 8円33銭
4. 消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

## ■損益計算書の要旨

（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）（単位：百万円）

| 科目 | 金額 |
|---|---|
| 営業収益 | 202,977 |
| 営業費 | 177,236 |
| 営業利益 | 25,740 |
| 営業外収益 | 1,735 |
| 営業外費用 | 13,256 |
| 経常利益 | 14,219 |
| 特別利益 | 8,837 |
| 特別損失 | 16,881 |
| 税引前当期純利益 | 6,175 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,303 |
| 法人税等調整額 | △1,738 |
| 当期純利益 | 3,610 |
| 前期繰越利益 | 3,475 |
| 中間配当額 | 1,083 |
| 当期未処分利益 | 6,003 |

## ■利益処分

（単位：円）

| 科目 | 金額 |
|---|---|
| 当期未処分利益 | 6,003,134,423 |
| これを次のとおり処分いたします。 | |
| 利益処分額 | |
| 配当金（1株につき2円50銭） | 1,083,175,470 |
| 次期繰越利益 | 4,919,958,953 |

（注）1.平成16年12月13日 1,083,221,540円（1株につき2円50銭）の中間配当を実施いたしました。
2. 配当金は自己株式（34,452株）を除いて計算しております。

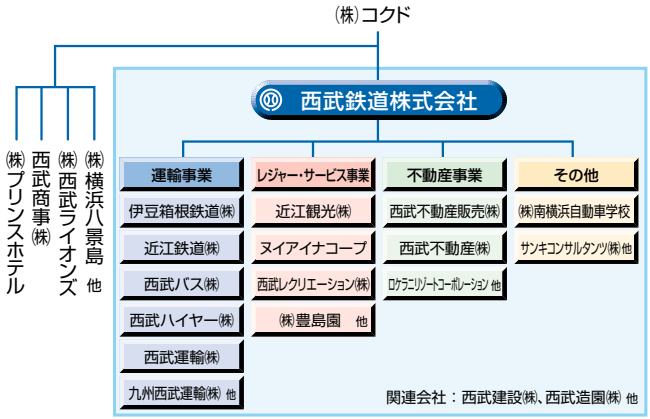
（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



# 連結決算情報

## ■企業グループ概要

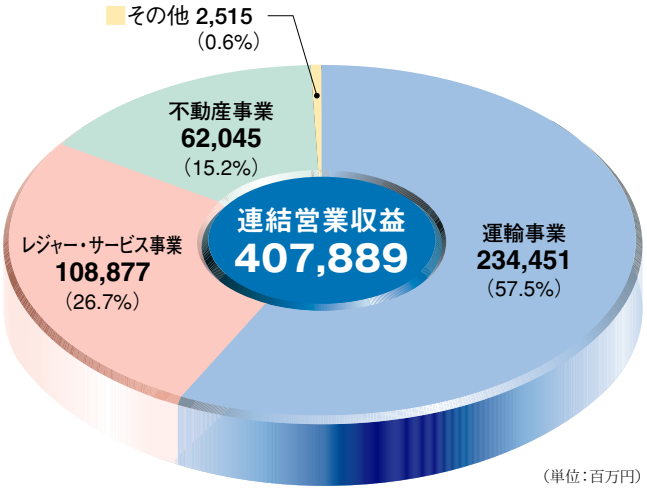
当社グループは、当社、子会社97社、関連会社4社の計102社で構成されております。また、当社グループに、親会社の㈱コクドと子会社群及び関連会社の子会社群を加えた企業集団が西武グループであり、グループ内の各社が連携を図り、多様な事業を展開しております。




枠内が連結決算対象会社です。

## ■セグメント別営業収益構成

（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）




（単位：百万円）

# 財務諸表（連結）

## ■連結貸借対照表の要旨（平成17年3月31日現在）

（単位：百万円）

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|---|---|---|---|
| （資産の部） | | （負債の部） | |
| 流動資産 | 173,062 | 流動負債 | 496,306 |
| 現金及び預金 | 43,996 | 短期借入金 | 376,501 |
| 受取手形及び売掛金 | 29,720 | その他 | 119,805 |
| 分譲土地建物 | 66,312 | 固定負債 | 605,197 |
| その他 | 33,033 | 長期借入金 | 448,515 |
| 固定資産 | 987,704 | その他 | 156,682 |
| 有形固定資産 | 919,719 | 特別法上の準備金 | 19,901 |
| 建物及び構築物 | 438,782 | 特定都市鉄道整備準備金 | 19,901 |
| 土地 | 356,817 | 負債合計 | 1,121,405 |
| その他 | 124,119 | （少数株主持分） | |
| 無形固定資産 | 5,902 | 少数株主持分 | 11,024 |
| 投資その他の資産 | 62,082 | （資本の部） | |
| 投資有価証券 | 29,406 | 資本金 | 21,665 |
| その他 | 32,675 | 資本剰余金 | 2,944 |
| | | 利益剰余金 | △11,123 |
| | | 土地再評価差額金 | 29,460 |
| | | 株式等評価差額金 | 3,705 |
| | | 為替換算調整勘定 | △2,221 |
| | | 自己株式 | △16,095 |
| | | 資本合計 | 28,336 |
| 資産合計 | 1,160,766 | 負債、少数株主持分及び資本合計 | 1,160,766 |

## ■連結剰余金計算書

（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）

（単位：百万円）

| 科目 | 金額 |
|---|---|
| （資本剰余金の部） | |
| 資本剰余金期首残高 | 2,944 |
| 資本剰余金期末残高 | 2,944 |
| （利益剰余金の部） | |
| 利益剰余金期首残高 | 3,653 |
| 利益剰余金増加高 | 633 |
| 土地再評価差額金取崩額 | 633 |
| 利益剰余金減少高 | 15,409 |
| 配当金 | 2,166 |
| 役員賞与 | 119 |
| 当期純損失 | 13,061 |
| 連結子会社増加に伴う減少高 | 62 |
| 利益剰余金期末残高 | △11,123 |

## ■連結損益計算書の要旨

（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）

（単位：百万円）

| 科目 | 金額 |
|---|---|
| 営業収益 | 407,889 |
| 営業費 | 383,412 |
| 営業利益 | 24,477 |
| 営業外収益 | 2,607 |
| 営業外費用 | 21,755 |
| 経常利益 | 5,329 |
| 特別利益 | 14,071 |
| 特別損失 | 28,983 |
| 税金等調整前当期純損失 | 9,581 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 6,493 |
| 法人税等調整額 | △3,102 |
| 少数株主利益 | 89 |
| 当期純損失 | 13,061 |

## ■連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）

（単位：百万円）

| 科目 | 金額 |
|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 43,504 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △27,489 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △12,556 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △16 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 3,441 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 38,061 |
| 連結追加に伴う現金及び現金同等物増加額 | 1,674 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 43,178 |

（注）財務諸表（連結）での記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 会社概要

（平成17年3月31日現在）

| | |
|---|---|
| 商　　号 | 西武鉄道株式会社 |
| 設　　立 | 明治45年5月7日 |
| 本社所在地 | 埼玉県所沢市くすのき台一丁目11番地の1 |
| 資 本 金 | 21,665,232,000円 |
| 従業員数 | 3,289人 |
| 株 主 数 | 13,316人 |
| 授権株式数 | 1,155,479,040株 |
| 発行済株式数 | 433,304,640株 |
| 事業内容 | 鉄道事業、観光事業、不動産事業 |

## 役　員

（平成17年6月28日現在）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 取締役会長（代表取締役） | 平野　直樹 | 取　締　役 | 白山　　進 |
| 取締役社長（代表取締役） | 後藤　高志 | 取　締　役 | 田島　幸夫 |
| 取締役副社長（代表取締役） | 石橋　正男 | 監査役(常勤) | 山田　憲二 |
| 常務取締役 | 高須　洋一 | 監　査　役 | 村田　昌弘 |
| 常務取締役 | 松下　　彰 | 監　査　役 | 神奴（かみやっこ）　帯刀（たてわき） |
| 常務取締役 | 五代儀（いよぎ）　俊悦 | 監　査　役 | 深澤　　勲 |
| 取　締　役 | 遠山　　毅 | | |

## 株主メモ

### 決算期日

毎年3月31日

### 株主総会

**定時株主総会** … 毎年6月に開催いたします。
**臨時株主総会** … 必要があるときに開催いたします。

### 基準日

毎年3月31日
そのほか臨時に必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。

### 1単元の株式の数

1,000株

### 名義書換代理人

東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

### 同事務取扱場所

東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部

**郵便物送付先・電話お問合せ先**
〒135-8722
東京都江東区佐賀一丁目17番7号
みずほ信託銀行株式会社　証券代行部
電話　0120-288-324（フリーダイヤル）

### 同取次所

みずほ信託銀行株式会社　全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社　本店および全国各支店

### 公告掲載新聞

東京都において発行する日本経済新聞

### 貸借対照表および損益計算書の開示

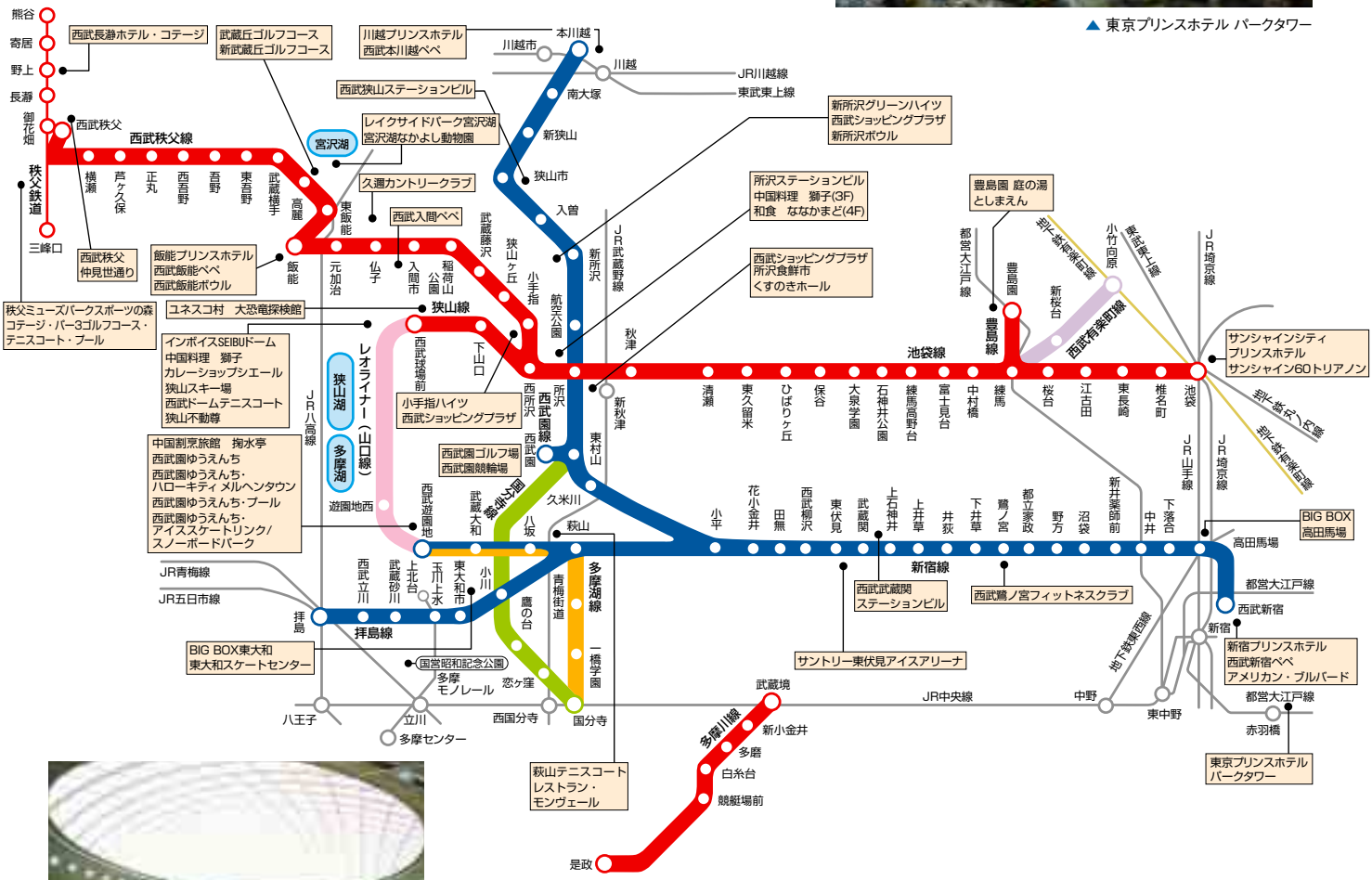
当社は、貸借対照表および損益計算書を、決算公告に代えて、当社ホームページに掲載しております。
ホームページアドレスは次のとおりです。
http://www.seibu-group.co.jp/railways/index.html

# 沿線案内図

特急レッドアローが走る池袋線・新宿線の2つの主要路線からなり、武蔵野、奥武蔵、秩父と、沿線は自然と歴史をともに楽しめる観光・通勤路線として知られています。武蔵野は、由緒ある寺社やその面影を残す公園、そして人々のオアシス多摩湖、狭山湖があります。奥武蔵は、都心からも近いハイキングコースで歴史と自然のなかをゆったりと歩けます。そして秩父は、歴史と自然の宝庫。長瀞、奥秩父連峰など見どころがたくさんあります。西武沿線は、四季を通じて楽しめるレジャー路線です。



▲ 東京プリンスホテル パークタワー






◀ インボイスSEIBUドーム

お気軽にお問合せください

**西武・電車テレホンセンター　TEL.（04）2996-2888**

電車の時刻・運賃、特急空席案内・沿線案内などをオペレーターがご案内いたします。
営業時間：平日9:00～19:00　土・休日9:00～17:00　年中無休（12/30～1/3を除く）

平成17年度 鉄道事業設備投資計画

# 「安全で快適な鉄道」を目指して

## 安全対策

### ●自動列車停止装置（ATS）に新しい機能を追加

より安全性を高めるため、「自動列車停止装置（ATS）」に新しい機能を追加し、急なカーブでの速度超過にも対応する設備の更新に着手します。

### ●高田馬場4番ホームにホーム柵を設置

高田馬場4番ホームにホーム柵を設置（一部開閉可能）。通常時はホーム柵を閉じることで、安全性の向上を図ります。なお、朝ラッシュ時、上り西武新宿行き4ドアの電車に対しては、今まで通り両側のドアを開けますが、3ドアの電車に対しては5番ホーム側のドアのみを開ける方式に変更いたします。



▲ホーム柵の設置（イメージ）

### ●ホームの安全対策

転落事故防止のため、今年度は7駅に列車非常通報装置、8駅に列車進入警報装置を設置する予定です。また、曲線ホームである下落合駅では、お客様が乗り降りされる際、音声によるご案内装置の設置により転落事故の防止を図ります。

### ●踏切事故防止対策

踏切支障検知装置を10カ所に新設するとともに、踏切が目立つことを目的とした塗装作業も37カ所で実施します。

### ●池袋線山手跨線橋（こせんきょう）の改築、多摩川線武蔵境駅付近の高架化工事

老朽化した池袋線山手跨線橋の改築は平成19年に、多摩川線武蔵境駅付近の高架化工事は平成20年度に完成予定です。

このほか、さらに安定した列車の運行やきめ細かい情報をお客様に提供できる運行管理システムへの更新、踏切を細かく制御できる列車情報装置の導入、駅施設の安定した電力を確保するための信号・電灯電源の二重化などを引き続き実施します。

## 環境対策

9000系車両を省エネルギー効果の大きいVVVFインバータ制御に改造する工事を引き続き進めます。今年度で4編成の改造が完了し、平成19年度までに全8編成を改造する予定です。このほか、線路のロングレール化を進め、列車走行時の騒音・振動の軽減を図ります。



▲改造された9000系車両

さらに「安全で快適な鉄道」を目指して、平成17年度には総額202億円を投入し、さらなる安全性の向上、サービスの充実、環境対策、輸送力増強に向け、より一層の設備充実を図ります。

## サービス向上

### ●駅のバリアフリー化

| 駅　名 | 設　備 |
|---|---|
| 保谷駅 | エレベーター:2基　エスカレーター:2基 など |
| 秋津駅 | エレベーター:2基　エスカレーター:5基　スロープの改修<br>お客様ご案内用オープンカウンターの整備 など |
| 西武新宿駅 | 多機能トイレの整備　スロープの改修<br>お客様ご案内用オープンカウンターの整備 など |
| 恋ヶ窪駅 | エレベーター:2基　エスカレーター:2基<br>スロープの改修 など |
| 競艇場前駅 | エレベーター:3基　多機能トイレの整備 など |

※既設の多機能トイレすべてにオストメイト対応の水洗器具およびベビーシートを設置します。整備の結果、多機能トイレは92駅中53駅の設置となります。

### ●運行情報表示器の新設およびLED式列車案内表示器の新・増設

きめ細かな運行情報をより早くお客様に提供する運行情報表示器を改札口付近に4駅7台新設します。また、列車の行先・種別・発車時刻などをご案内するLED式列車案内表示器を9駅に新・増設します。

### ●ICカード乗車券の導入および特急券のWeb予約機能の着手

平成18年度にはICカード乗車券の導入を開始します。合わせて自動券売機など駅務機器の更新を行います。また、パソコン・携帯電話から特急券の予約ができるように機能改善に着手します。

### ●ホーム待合室の設置

今年度は練馬高野台駅、秋津駅、新所沢駅の3駅3カ所にホーム待合室を設置します。

### ●池袋駅1番ホームの延長

池袋駅では、スムーズな運行を確保するために1番ホームの延長工事を進めます。これにより、すべてのホームで10両編成の停車が可能になります。

### ●車両の新造・改良

さらなる輸送力の充実を図るため、通勤車両20000系を2編成18両新造します。また、特急車両10000系では、2編成において、座席・トイレなどの車内装備を一新。さらに、通勤型車両172両において、出入り口扉付近の吊革増設を行います。

## 輸送力増強

### ●池袋線石神井公園駅付近の高架複々線化

池袋線石神井公園駅付近の高架複々線化は、早期着工に向けて準備を進めています。この工事によって、石神井公園駅まで複々線化が整備されるため、より便利で快適なサービスを提供することができるようになります。



## 「東京プリンスホテル パークタワー」開業

当社では4月11日、港区・芝公園に「東京プリンスホテル パークタワー」を開業いたしました。

同ホテルは、当社が港区・芝公園の社有地を地域に開かれた公園として整備し、あわせて公園内に宿泊施設・集会施設等を整備する事業「東京都市計画芝公園整備事業（芝公園1号地）」としてオープンしたもので、約11,000坪の広大な敷地の約50%が緑化され、日本の四季を織り成す公園として、人々が集うコミュニティースペースの役割を担っています。

施設の概要は、地上33階・地下2階、平均面積40㎡以上の開放感あふれる673室の客室、日本最大級の広さを持つ2つの主宴会場を中心とした全17室の宴会場、緑に囲まれたチャペルや最上階33階にあるスカイチャペルなど、3種類のチャペルを持つウエディング施設、バラエティ豊かなレストラン9店とバー2店、天然温泉を備えた最新の設備を持つスポーツクラブなど、人が集い、かつ、やすらぐために必要な機能を備えています。



エグゼクティブツインルーム



主宴会場「ボールルーム」





毎年3月31日現在および9月30日現在の最終の株主名簿に記載または記録された株主に対し、次のとおり株主優待乗車証および施設利用優待券を発行いたします。

### 1. 株主優待乗車証

| 所有株式数 | 優待乗車証の種別 | 乗車区間 | 枚数（6ヵ月につき） |
|---|---|---|---|
| 1,000株以上<br>5,000株未満 | 普通乗車券形（片道） | 電車全線 | 10枚 |
| 5,000株以上<br>10,000株未満 | 普通乗車券形（片道） | 電車全線 | 30枚 |
| 10,000株以上<br>20,000株未満 | 普通乗車券形（片道） | 電車全線 | 50枚 |
| 20,000株以上<br>40,000株未満 | 定期券形 | 電車全線 | 1枚 |
| 40,000株以上 | 定期券形 | 電車・バス全線 | 1枚 |

### 2. 施設利用優待券（1,000株以上一律）

| 優待施設 | 優待内容 | 枚数（6ヵ月につき） |
|---|---|---|
| 西武園ゆうえんち | 入園券<br>のりもの券 | 5枚<br>15枚 |
| ユネスコ村<br>大恐竜探検館 | 大恐竜探検館入館券<br>バーチャルライドシアター・メリーゴーランド・UFO共通券 | 5枚<br>5枚 |
| インボイスSEIBUドーム | パ・リーグ公式戦<br>内野指定席券（引換券） | 5枚 |
| 西武グループの宿泊施設<br>（全国66ヵ所） | ルームチャージまたは<br>1泊2食付き正規料金の<br>20～30%割引券 | 10枚 |

施設利用優待券でご利用いただける施設、内容等は変更する場合もありますので、ご了承ください。

### 3. 有効期間

3月31日現在の株主：6月1日から11月30日まで

9月30日現在の株主：12月1日から翌年5月31日まで